

## 「こどもちゃれんじ教室」を開催しました！

令和5年10月21日（土）、三重県伊賀市の焼尾国有林にて「こどもちゃれんじ教室」が開催されました。この教室は伊賀市教育委員会生涯学習課が年間を通じて開催しているイベントの一つで、三重森林管理署と伊賀市教育委員会で「遊々の森」の協定を締結している「いきいき学びの森」をフィールドとしています。

今年度は、伊賀市内の小学生7名、保護者4名が「いきいき学びの森」で樹木について学び、スウェーデン発祥の薪投げゲーム「クップ」を体験しました。

### 今年度の教室の内容

#### ○森林学習

「いきいき学びの森」に生育する樹木の名前当てゲームを行いました。実際の樹木の葉を見ながら、イラスト付きの選択枝の中から正解の樹木の名前を選んでもらいました。参加者は実際の樹木の葉をよく観察し、選択枝の樹木の葉とよく見比べながら正解を選んでいたため、葉の特徴（葉のふちがギザギザ、波打つような形など）を楽しく覚えてもらえました。



#### ○クップ体験

スウェーデン発祥の薪投げゲーム「クップ」を体験しました。「クップ」とは6人対6人のチーム戦で、カストピナ（木棒）を投げて、相手コート側のクップ（木片）を倒すゲームです。クップ（木片）をすべて倒したあと、キングクップ（大きな木片）を先に倒したチームが勝者となります。今回使用したクップは三重県産材を使用しています。参加者は初めはなかなかクップを倒せない様子でしたが、後半になるにつれてコツをつかみ、最後にはうまくクップを倒せるようになっていました。クップを倒すことができたときはチーム全員が非常に喜んでいました。「楽しかった」「小学校でもクップをやってみよう」などといった声も聞こえ、ゲームを楽しんでもらえました。



## ○うんこドリルクイズ

活動のまとめとして、「うんこドリル 森とくらし」の「森林の木を切ったらどうする？」という問題を考えました。参加者はすぐに「切った木は使う」という正解を選ぶことができました。「家に帰ってうんこドリルで森林について勉強します」という声もあり、森林学習に前向きになってもらえたようでした。



林野庁×うんこドリル「うんこドリル 森とくらし」（林野庁HP）

<https://www.rinya.maff.go.jp/j/kouhou/kouhousitu/unkodrill/moritokurashi.html>

## ○景品贈呈

クップ体験のあとに、参加者全員に「うんこドリル 森とくらし」と松ぼっくりやどんぐりで作ったキーホルダーが配布されました。

今回の体験を通して、森林をもっと好きになってもらえればと思います。

